

文化財総合的把握モデル事業 中間報告会



新潟県佐渡市

【佐渡の歴史文化資源】

佐渡は、一定の広がりを持った島であることから、変化に富んだ豊かな自然環境を生み出すとともに、いにしえより日本国内あるいは海外から伝播した文化的要素が継承温存されやすいという特質をもっている。さらには、佐渡金銀山による繁栄の結果が、人々の暮らしのさまざまな要素に浸透し、佐渡の多種多様な歴史と文化となっていることに、独自性を見出すことができる。

豊かな自然・生態系
「日本の縮図」

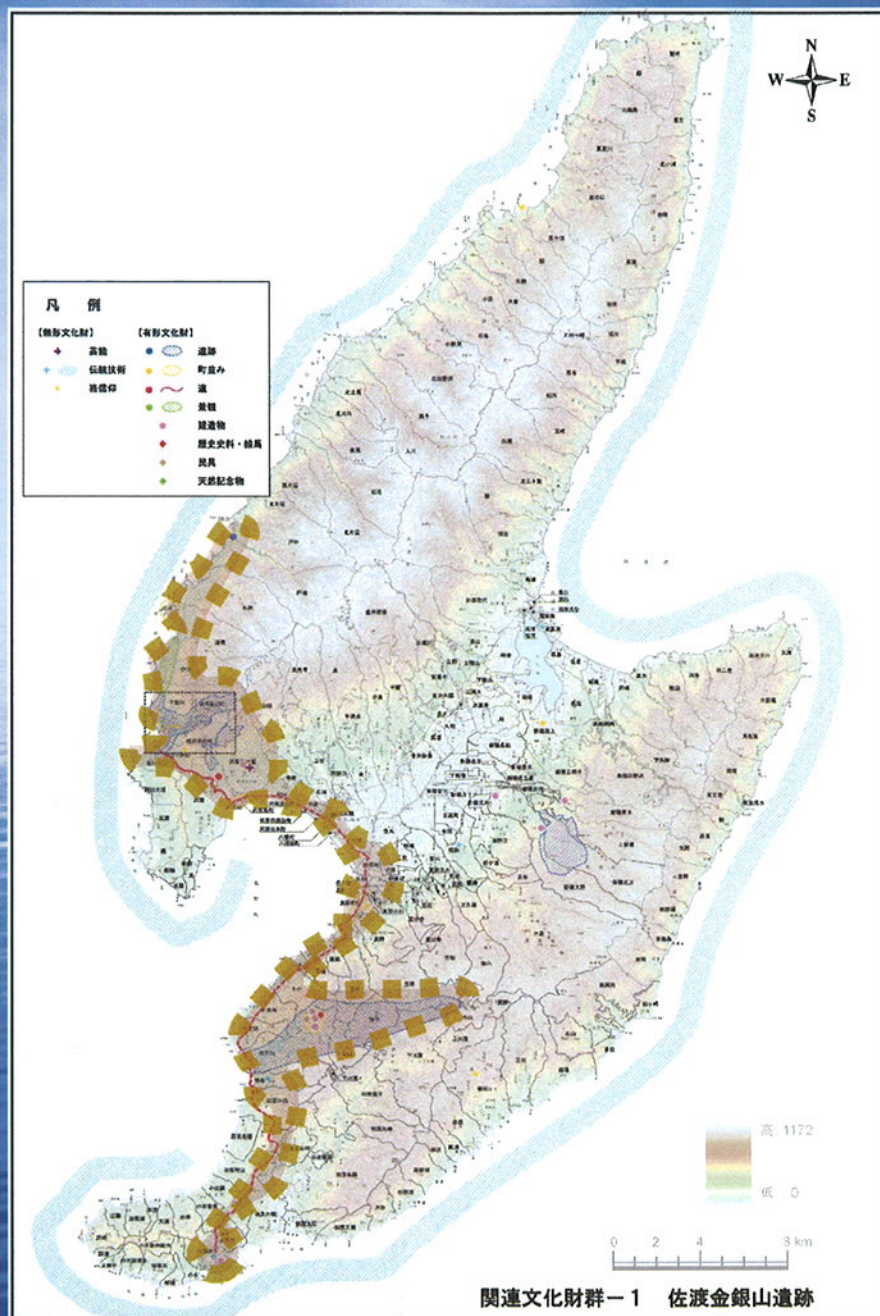
長年に渡る文化の受容
「島外との交流・交易」

佐渡金銀山がもたらした繁栄

これらが相互に影響しあった結果



佐渡特有の歴史文化資源



歴史文化保存活用区域 の策定の考え方・具体的 な範囲の考え方

関連文化財群イメージ

①佐渡金銀山遺跡

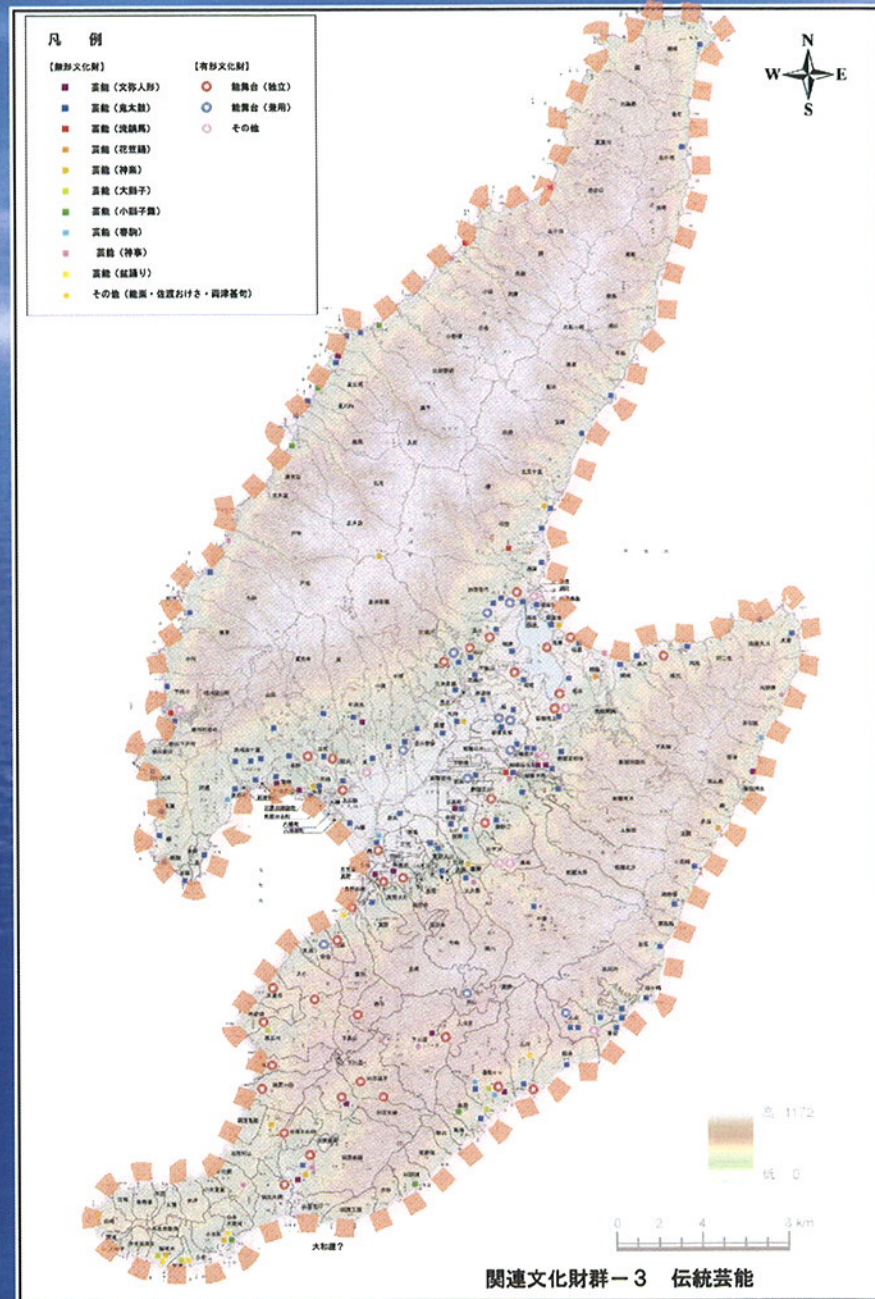
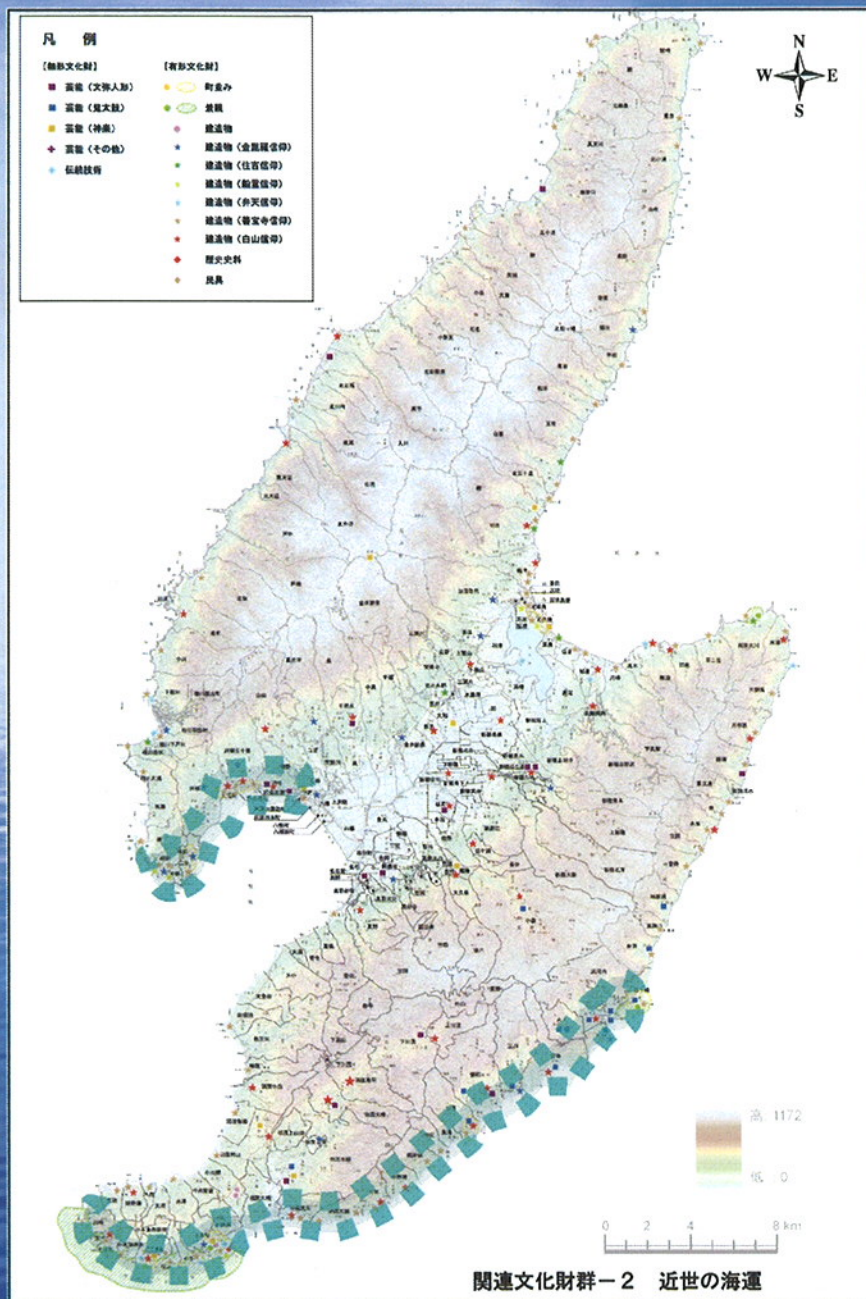
相川・鶴子・西三川・新穂にまたがる鉱山跡と近代化遺産群

②近世の海運

西廻り航路の寄港地「小木港」と前浜海岸線の町並み

③伝統芸能

現存する35棟の能舞台と鬼太鼓など各集落に伝わる伝統芸能



歴史文化基本構想（素案）の概要

【目次(案)】

- 背景と位置づけ
- 佐渡市の概要
- 佐渡市の文化財
- 文化財の特性
- 社会全体で保存活用するための考え方
- 文化財の保存活用のための制度の設定
- 文化財保存活用のための運用計画

保存活用（管理）計画策定の考え方

- 重要なものについては、建造物・町並み・遺跡など要素ごとの保存活用（管理）計画策定を推進する。
- 金銀山及び海運は、関連文化財群ごとに設定した歴史文化保存活用区域ごとに保存活用（管理）計画を策定する。
- 伝統芸能は市域全域とし区域は設定せずに保存活用（管理）計画を策定する。